

# 評価報告概要表

## ■第三者評価機関

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 名 称   | 社会福祉法人 山口県社会福祉協議会 |
| 評価調査日 | 平成23年11月29日（火）    |

## ■福祉サービス事業者情報

|            |   |          |              |
|------------|---|----------|--------------|
| 名 称        | 防府海北園   | 種 別      | 児童養護施設       |
| 代表者氏名      | 施設長 岡永猛夫  | 開設年月日    | 昭和29年4月22日   |
| 設置者        | 社会福祉法人 防府海北園  | 定員(利用人数) | 72人(65人)     |
| 所在地        | 〒747-0064 防府市高井686  |          |              |
| 電話番号       | 0835-22-2044  | FAX番号    | 0835-22-2271 |
| ホームページアドレス | <a href="http://www3.ocn.ne.jp/~kaihoku/">http://www3.ocn.ne.jp/~kaihoku/</a> |          |              |

## ■総 評

### 全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

#### ◇特に評価の高い点

1. 三回目の第三者評価受審である。職員全員でサービス内容の充実に向けて取り組む意欲が感じられる。
2. 管理者は就任してまだ1年に満たないが、前職である事務長としての知識と経験を基に自らの役割と責任をしっかりと自覚し、職員にもそのことを表明し、施設の運営管理・福祉サービスの提供に管理者としてのリーダーシップを発揮している。
3. 実習生の受入れでは、受入れ態勢が整備され種別プログラムも準備するなど、将来を担う実習生の育成に積極的に取り組んでいる。
4. 利用者と地域とのかわりに熱心に取り組んでいる。利用者も地域社会の一員であることを忘れず、地域行事への参加、また施設機能の地域社会への開放等、地域と利用者との積極的な交流・情報の交換を図り、利用者や地域社会がお互いを意識し理解し合う関係を長年に渡り培い、実践している。
5. 前回の受審時に、利用者からの要望があるものの未設置となっていた男子利用者の談話コーナーについては設置されていることを確認した。

#### ◇改善を求められる点

1. 理念や基本方針の実現に向けた目標をより明確にするためにも中・長期計画の策定は必要である。国や県の動向を適宜把握しているので、その情報を基に、ケアの小規模化、設備の整備、人材育成の現状分析を行い、課題や問題点の解決に向けた具体的な内容をもりこんだ中・長期計画の策定をお願いしたい。
2. 前回の受審時同様、外部監査と人事考課の実施については、依然、今後の検討課題である。

## ■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

一日、施設の評価をしていただき、ありがとうございました。また、職員や児童の面接をされ、適切な評価をしていただきました。

b評価やc評価の項目につきましては、今後の検討課題とし、職員全員で取り組んでいきたいと思っています。

今後も基本理念に基づき安心して安全な環境の中で、子ども一人一人の生活支援に努め、地域の福祉ニーズに応じた、社会貢献に努めていきたいと思っています。

# 評価報告概要表

## ■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

| I 福祉サービスの基本方針と組織   | a | 7 | b | 3 | c | 2 | Na | 0 |
|--|---|---|---|---|---|---|----|---|
| <p>1. 理念や基本方針が明文化され、職員への周知が徹底されている。特に利用者や保護者に対する説明もていねいに行われており、施設への理解を得ようという姿勢が感じられた。</p> <p>2. 単年度計画が策定され見直しや評価も組織的に実施されているので、それを踏まえた中・長期計画を策定されたい。</p> <p>3. 管理者の責任とリーダーシップについては自己評価では低く評価されていたが、その役割と責任について職員に表明、周知し、財務労務の管理、サービスの質の向上、業務の効率化や職場環境の改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。施設の運営管理・福祉サービス提供への取り組みに積極的である。</p> |   |   |   |   |   |   |    |   |

| II 組織の運営管理  | a | 10 | b | 8 | c | 4 | Na | 0 |
|---|---|----|---|---|---|---|----|---|
| <p>1. 施設の長年の努力により地域との良好な関係が培われ、維持されてきていることは大いに評価できる。そのことにより利用者が地域の一員として生活できており、また地域においては施設への理解が広がっているものと思われる。</p> <p>2. 実習生やボランティアの受入れも積極的で、マニュアルに沿って適切に取り組んでいる。</p> <p>3. 職員の就業状況は把握されており、職員の要望にも配慮され、改善に向けた取り組みが行われている。</p> <p>4. 施設内研修に組織的によく取り組んでいるが、将来的な職員体制の充実や質の向上を図るためにも、職員個々についての教育・研修計画の策定、具体的な取り組みが望まれる。</p> |   |    |   |   |   |   |    |   |

| III 適切な福祉サービスの実施   | a | 21 | b | 1 | c | 0 | Na | 0 |
|--|---|----|---|---|---|---|----|---|
| <p>1. サービスを提供する対象が児童や青少年少女というまだ未成年の利用者であることをよく自覚し、サービス提供の重要性を認識して取り組んでいる。多種多様なサービスを心配りしてきめ細かく提供する中で、利用者を尊重し、利用者の満足向上に努める姿勢は評価できる。</p> <p>2. 整備された各種マニュアルを職員全員がよく把握・実践し、かつ、マニュアルに基づいた実施がなされているかどうかを会議等で確認している。個々のアセスメントを作成し、利用者や保護者の意向をふまえて自立支援計画を作成し、定期的な評価と見直しを全職員参加で行っている。</p> |   |    |   |   |   |   |    |   |

| IV 良質な個別サービスの実施  | a | 23 | b | 10 | c | 0 | Na | 0 |
|--|---|----|---|----|---|---|----|---|
| <p>1. 日常生活支援においては、食・衣・住と健康面においてそれぞれ配慮されており、例えば食ではランチョンマットや箸置きを個別に用意、暖かい食事提供、食事時間への柔軟な対応等がなされており、集団生活ではあるが、家庭的な養育を実践しようとして工夫している。</p> <p>2. 居室は基本的に4人部屋であるが、可能な限りプライバシー保護に努める姿勢がうかがわれる。居室の床暖房やエアコンの設置など、利用者のための快適な生活環境作りに取り組んでいる。</p> <p>3. 進路指導においても、進学や就職に関する情報を収集し、退所してからの生活が自立できるよう、支援と指導を組み合わせて、利用者の養育に積極的に取り組んでいる。</p> <p>4. ヒアリングでも、利用者は明るく、自分の考えや思いを素直に述べる等、伸び伸びと暮らしている印象を受け、とても好感がもてた。職員の日頃からの支援が適切に行われ、利用者との信頼関係は構築されている。</p> <p>5. 職員の描く目標に到達していないとの自己評価があったが、利用者にも成長して欲しいと願いながらの支援であり、利用者を尊重したよりよい支援ができるよう、常に改善の姿勢をもって取り組んでおり、志の高さが感じられた。</p> |   |    |   |    |   |   |    |   |